2016 年 12 月 5 日

◇視聴報告まとめ＜2016 年 12 月 5 日号＞◇

TBS「白熱ライブ ビビット」

先週木曜日、2016 ユーキャン新語・流行語大賞が発表され「保育園落ちた日本死ね」が受賞した件について賛否の意見が交わされた。視聴者にもアンケートを取ったが８２％がこの言葉が選ばれたことに反対という結果であった。

（所感）

ゲストの鳥越俊太郎氏（去年まで同「流行語大賞」の選考員を務めた）は「日本の待機児童の問題はこうした言葉を使わざるを得ないほど深刻な状況になっており、政府や自治体はこの問題になんら有効な手立てを打ってこなかった」と発言していましたが、この無責任なコメントには脱力してしまいます。

待機児童対策については、平成 25 年度から「待機児童解消加速化プラン」で数値目標を伴う政治的課題として位置づけられており、既定路線でした。「保育所落ちた 日本死ね」が政策決定に何らかの影響を与えたわけではありません。

厚労省、内閣府そして各地方自治体も、保育関連の部署は激務で知られています。待機児童対策は施設整備からソフト事業まで、行政サイドも様々な取り組みをしているということは事実です。この事実を全く無視した鳥越氏の発言は不見識ではないでしょうか。

放送法遵守を求める視聴者の会